



# ERP アプリケーション向け マネージド・クラウド・サービス 比較ガイド

クラウド・アプリケーション管理プロバイダー  
を選択する際に確認すべきこと







## 目次

- 3 ERP 向けマネージド・クラウドをお勧めする理由
- 5 マネージド・クラウドはどのように価値を追加するか
- 6 プロバイダーに何を求めるべきか
- 8 選択：選択肢は何か
- 11 セキュリティ：データとアプリケーションはどのように保護されているか
- 14 管理：プロバイダーは実際に何をしてくれるか
- 17 専門知識：プロバイダーはどの程度有能か
- 20 シンプルさ：プロバイダーは ERP 環境をどのようにシンプルにして最適化するか
- 22 マネージド・クラウド・サービス・プロバイダーの候補はこれらの質問にどのように答えるか
- 23 チームを解放してより戦略的なプロジェクトにフォーカスする
- 24 次のステップ：競合他社が不十分なところでも、お客様のクラウド・ジャーニーの開始、移行、目的を理解する



# ERP 向けマネージド・クラウドをお勧めする理由

## マネージド・クラウドをお勧めする理由

SAP や Oracle のような重要なアプリケーションをサポートするために、組織はクラウド・サービスを採用し、従来型のアウトソーシングやオンプレミス・モデルから移行を始めました。それらの組織は次第に、これらのワークロードをクラウド対応にすることが、俊敏性と効率性を向上させてビジネス改革の分野を生み出すためにどれほど重要かを認識するようになってきました。重要なデータ集約型のエンタープライズ・リソース・プランニング (ERP) アプリケーションをハイパースケール・クラウド・インフラストラクチャーに移動することにより、組織はアプリケーションのパフォーマンス、拡張性、適応性を推進することができます。また、これらのワークロードをクラウドに移動することで、チームは AI、モノのインターネット (IoT)、ブロックチェーンなどの新興テクノロジーを、これらの重要なアプリケーションからのデータと統合できるようになります。

しかし、多くの組織では、このトランスフォーメーションを実行してこのような新興テクノロジーを活用するためのスキルが不足しています。最新の ERP 環境は信じられないほど複雑になる可能性があります。そのため非常に多くの企業は、スキル獲得の責務の実施、反復可能なプロセスの最適化、革新的な新規サービスを促進する迅速かつ正確なデプロイメントのプロモートを行うために、マネージド・サービス・プロバイダーと提携しています。

## SAP S/4HANA の採用：マネージド・クラウドの価値

SAP S/4HANA は SAP クライアントの将来のための次世代ビジネス・スイートであることが明らかになってきています。これらのようなコア・アプリケーションの能力をフルに活用するために、多くの企業は、S/4HANA の採用とクラウドへの移行を組み合わせることに注目しています。しかし、プロセスを効果的に実行するスキルを持つ人を見つけることは難しい可能性があり、移行は限られた IT リソースに重圧をかけてしまうことになります。

SAP S/4HANA では、適切な資格を持ったマネージド・サービス・プロバイダーがこれらの問題の軽減をサポートしてくれます。S/4HANA スイート専用の信頼できるマネージャーとして、プロバイダーは SAP モジュールの採用と移行を加速させることにより、価値実現までの時間を短縮します。





# ERP 向けマネージド・クラウドをお勧めする理由

どのワークロードがマネージド・クラウドに最適か

あらゆる形式とサイズのエンタープライズ・アプリケーションが、マネージド・クラウド・サービスに適しています。これらのサービスには、開発やテスト、ロード・テスト、品質保証、実動前、トレーニングやステージング環境、実動など、アプリケーション・ライフサイクル全体のワークロードが含まれます。

主要なビジネス・トランスフォーメーションにおいて中心的役割を持つことを考えると、ERP プラットフォームはマネージド・クラウド・デプロイメントの最重要候補となります。これらのプラットフォームには、エンタープライズ・アプリケーション、SAP S/4HANA、その他の ERP アプリケーションなど、もともとクラウド向けに開発されたものではないものが含まれています。

適切なマネージド・クラウド・サービス・プロバイダーは、以下のようなメリットを提供できます。



深い専門知識、評価、ツールによって、アプリケーションへの投資を最適化し、移行への支援を提供します。



信頼できる監査可能なプロセスとコントロールで、複雑さ、時間、リスクを軽減します。



ソリューションを効率的に運営するための洞察を提供します。



統合された組み込みのセキュリティにより、データやアプリケーションを安全に保ちます。



保証されたサービス・レベルで一貫したアプリケーションのパフォーマンスと可視性の提供を支援します。





# マネージド・クラウド・プロバイダーはどのように価値を追加するか

適切なクラウド・マネージド・サービス・プロバイダーは、IT 部門が予測分析を使用してプロアクティブな問題検出とアプリケーション固有の自動化を推進するのを支援できます。このアプローチは、変更要求のサイクル時間を低減しながら、問題やイベントに優先順位をつけて積極的に管理するのに役立ちます。プロバイダーは、パフォーマンスの向上、レジリエンシー・サービス・レベルの向上、コストの削減に役立つアクション可能な洞察を生成するために、データ全体を可視化するツールも提供します。

58% の IT リーダーは、イノベーションをアクティビティーの中で「重要」または「最重要ファクター」だとしています。<sup>1</sup>

新しい方法でデータを使用して、イノベーションを行い、競争上の優位性や運用の効率化を実現することは、ほとんどの企業にとって成功のための鍵となります。しかし、それには堅固なテクノロジーの基盤がなければなりません。マネージド・クラウド・サービス・プロバイダーが支援できる方法をここに紹介します。



**ワークロードへの環境のマッチング** クラウド・プロバイダー間で整合性を維持しながら、お客様の特定のワークロードに適切なクラウドを選択します。



**運用のシンプル化と透明化** 迅速なサービスのアクティブ化と非アクティブ化、インフラストラクチャーのモニターとレポート、セキュリティとパッチ管理などの機能を含む、クラウドとアプリケーションのパフォーマンスの可視化によって行います。



**アプリケーションへの投資の最適化** ワークロードのニーズに合わせて構成、デプロイ、管理されたソリューションによって行います。



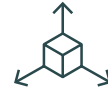
**安心の確保** インフラストラクチャーからアプリケーションまで、セキュリティへの包括的で統合されたアプローチを使用して、クラウド内の ERP ワークロードがセキュリティ基準を満たし、データ・プライバシー・コンプライアンスのプロトコルを遵守できるようにします。





# プロバイダーに何を求めるべきか

クラウドにアプリケーションを実装して管理するのに適切なプロバイダーを選択するのは、簡単な決断ではありません。セキュリティ、サービス、テクノロジー、専門知識と、成果を提供する能力のギャップは、深刻な結果をもたらす可能性があります。マネージド・クラウド・プロバイダーは、お客様の一部のニーズだけでなく、すべてのニーズを満たす必要があります。プロバイダーを決める際には、以下のような主要な分野に注目してください。



**クラウド・インフラストラクチャーの選択。**  
インフラストラクチャー間 (IBM Cloud®、Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Oracle Cloud Infrastructure など) での選択、そしてビジネス上重要なアプリケーションを実行するオペレーティング・システムとハードウェアの適切なロケーション、サービス、デリバリー、適用範囲の選択を行う能力を維持します。

適切なプロバイダーは、ご使用のワークロードのサポートに最適なインフラストラクチャーにマッチングすることができて、テクノロジーへの投資に見合うビジネス成果をもたらすことができる必要があります。プロバイダーが複数のクラウド・プロバイダーのサービスを提供し、異なるプラットフォーム間で一貫性のある専門知識と可視性を提供できることを確認します。



**高レベルのセキュリティ** プロバイダーが、お客様とプロバイダーの間で適切に責任を分担しながら、コンプライアンスに必要なレベルのセキュリティを提供できることを確認します。

セキュリティの専門知識と機能がサービスに組み込まれており、単に追加されているだけではないプロバイダーを探します。これらの機能は、ERP アプリケーションのニーズのためであり、ワークロードとデータが常に確実に保護されるようにするものです。プロバイダーの能力がお客様のコンプライアンス基準を満たしていることを実証できるかどうか、また、そのレポート機能がお客様の規制要件を満たすのに役立つかどうかを確認します。



# プロバイダーに何を求めるべきか



## エンド・ツー・エンドのクラウド管理。

Infrastructure as a Service (IaaS) から Platform as a Service (PaaS)、そしてアプリケーション・サポートに至るまで、プロバイダーの管理スキルを活用します。

適切なプロバイダーは、ワークロードの選択と移行、環境の構成、専門のワークロード・ガバナンスと管理などのタスクで支援することにより、基本的なサービス・オファリングだけでなく付加価値を提供します。自動化や AI 運用 (AIOps) などのツールを使用して、マネージド・サービス体験を向上させる予測分析を提供します。プロバイダーは、提供するオファリングによっては、AI、IoT、ブロックチェーンを使用して、ERP アプリケーションを拡張することもできます。



**専門知識。** クラウドとそこで実行されるワークロードや、新興テクノロジー、投資収益率 (ROI) の向上のための運用の最適化でのプロバイダーの経験から学びます。

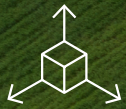
特定のプラットフォームに結び付いたテクノロジーのみに注力しているプロバイダーもあります。また、サービスを最大限に活用するための深いテクノロジーや運用の専門知識のないプロバイダーもあります。新興テクノロジーをしっかりと理解し、クラウド上で実行される ERP アプリケーションにそれらのテクノロジーを統合するスキルを持つプロバイダーを探して、アプリケーションへの投資を最大限に活用できるようにします。このような幅広いスキル、テクノロジー、サービスは、プロバイダーがお客様のニーズを理解し、最適なソリューションを実装し、ビジネス上の利点を提供するのに役立ちます。



**シンプルさ。** 運用を合理化してシンプルにして、ERP アプリケーション環境全体に管理、自動化、可視性、アクション可能な洞察を提供します。

適切なプロバイダーは、目標とする成果のために十分な情報に基づいた意思決定を推進する、透明性のレベルを提供します。通信、サービス・リクエスト、チケット管理などのアクティビティーのために提供されるデジタル・ツールは、プロバイダーがアプリケーションやワークフローにもたらすことができるシンプルさのレベルを表す主要な指標です。豊富なポータル体験や API で利用できるデータは、その 2 つの例です。





# 選択

クラウド・インフラストラクチャーとロケーション、サービス、デリバリー、さらにビジネス上重要なアプリケーションを実行するオペレーティング・システムとハードウェアの適用範囲の選択

## 選択肢は何か

すべてのクラウドやクラウド・プロバイダーが同等に作成されているわけではありません。クラウド・マネージド・サービス・プロバイダーは、IaaS プロバイダー、ハードウェア、オペレーティング・システム、プラットフォーム・コンポーネントの選択肢を提供し、お客様独自のニーズとワークロード要件にクラウド・デプロイメントを合わせて調整できるよう柔軟であることが必要です。

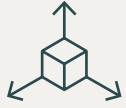
多くのプロバイダーは、必ずしも最適な価格性能を実現できるわけではない、汎用的なインフラストラクチャーを提供しています。これらのプロバイダーは、既存のスキルやリソースを活用する能力を制限してしまうことがあります。基幹業務のアプリケーションやデータをクラウドに実装する際には、アプリケーションの高いサービス・レベル・アグリーメント (SLA) を必ずしも保証していないプロバイダーには注意が必要です。オフプレミスの仮想パブリッククラウド・インフラストラクチャーを提供しているだけの場合も多くあります。

---

適切なワークロードに適切なクラウドを選択する能力が不可欠であり、シンプルな管理、セキュリティ、ガバナンス、データ活用の機会を生み出すことができます。<sup>2</sup>

---





# 選択

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「どんなクラウド・プロバイダーを選択すればいいですか？」

その答えに含まれるべきなのは、プロバイダーのニーズではなく、あなたのニーズに合わせたオペレーティング環境です。

組織が継続的に変革してサード・パーティーのクラウド上で ERP アプリケーションを実行すると、クラウド・プロバイダーはエンド・ツー・エンドのサービス・マネージメント体験に影響を及ぼします。これらの体験によって、IT 部門の管理下のリソースに依存しなくなるので、クラウド・プロバイダーのニーズではなく、お客様の固有のニーズに合わせたオペレーティング環境の選択を求めようになります。

プロバイダーは、幅広いオペレーティング環境をサポートし、ハードウェアとソフトウェアの組み合わせに関わらず、ソリューションで既存の環境とスキル・セットを補完できるようにする必要があります。さらに、適切なプロバイダーは、固定サイズのデプロイメントを使用するのではなく、お客様のワークロードのニーズにインフラストラクチャーとプラットフォーム・サービスを適合させるよう協力します。

「サービス・レベルを満たせますか？」

その答えに含まれるべきなのは、マネージド・クラウド全体をカバーする SLA です。

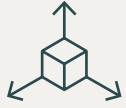
一部のプロバイダーは、SAP のようにワークロードのアプリケーション・レベルに対してではなく、サーバー、ストレージ、ネットワーキングに対する SLA のみを提供しています。このような制限があると、お客様がギャップを埋める責任を負うことになり、組織のリスクが高まります。IaaS と PaaS にまたがり、オペレーティング・システムとアプリケーション・レベルに拡張する SLA を持つプロバイダーを探してください。ワークロードによって SLA 要件が異なることを忘れないでください。適切なプロバイダーは、契約上の保証はお客様のワークロードの特性に固有であることを確認します。

「独自のクラウド・プラットフォーム以外のものも管理しますか？」

その答えがフォーカスするべきなのは、選択を提供するクラウド・ソリューションです。

マネージド・クラウド・プロバイダーは、エンタープライズ・ワークロードを、クラウド・プロバイダーに関わらず、最も意味を成す場所に実装できるようにする必要があります。管理の簡素化と合理化を支援することで、新しい顧客の要求と競争上の脅威に対応するのに役立つビジネスの俊敏性を得ることができます。





# 選択

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「組織全体に一貫した体験を提供できますか？」

その答えがフォーカスすべきなのは、単一セットの IT 管理プラクティスと世界中での単一のデリバリー・チームの利用です。

顧客やビジネスの期待に応えるためには、特に災害復旧、ワークロード移行、またはグローバル・エンタープライズ・シナリオにおいて、同じインフラストラクチャー、ソフトウェア、プロセス、マネージド・サービスを持つことが重要です。クラウド・マネージド・サービス・プロバイダーは、実装される場所に関わらず、環境全体にわたって一貫性を提供することにフォーカスする必要があります。その結果できる標準化された実装とサービス提供により、リスクが軽減され、複雑さが減少し、ローカルとグローバルの両方で SLA を確実に満たすことができるようになります。

「私の目的にどの程度適していますか？」

その答えが実証すべきなのは、プロバイダーがお客様のエンド・ツー・エンドのニーズを満たすことができるということです。

クラウド・マネージド・サービスはお客様の選択肢を制限するべきではないにもかかわらず、多くのプロバイダーはサード・パーティーに依存することによって制限しています。プロバイダーは、24 時間 365 日利用可能な、必要な知識、サービス・ポートフォリオ、スキル、体験を社内で幅広く揃えていなければなりません。その関係を最大限に活用するために、問題を素早く特定し解決するのに役立つ、包括的でカスタマイズ可能なメトリックと見解を単一窓口で提供して関与する選択肢を探します。単一プロバイダーとの意味のある関係には、専門的なサービス、例えば戦略策定、移行前計画、移行サービス、デリバリー・モデルの選択、独自のハードウェアの使用などのオプションのサポートなどが含まれる必要があります。



# セキュリティ

コンプライアンスに必要な高レベルのセキュリティと、お客様とプロバイダーとの間の適切な責任分担



## プロバイダーがデータやアプリケーションの保護に本当に役立つか

セキュリティ・ブリーチが起きると、評判が損なわれます。現在の顧客は、自分のデータが安全でないと感じるかもしれず、潜在的な顧客は、利用したい選択肢と考えなくなるかもしれません。さらに、規制当局からペナルティーを受ける可能性もあります。多くのプロバイダーは、自社のクラウドが安全であることを主張していますが、インフラストラクチャー、サービス、物理的セキュリティにギャップがあると、ブリーチに対応する修正のセットを後付けで実装することになりかねません。プロバイダーのセキュリティの専門知識のレベルや、セキュリティ・オプションをサード・パーティーに委託しているかどうかによって、制限やさらなるリスクが生じる可能性があります。

そのためクラウド・プロバイダーは、セキュリティを設計に組み込むことによって、クライアント・データを自分のもののように扱う必要があるのです。プロバイダー自身から幅広く複数層のセキュリティを統合することで、お客様のコンプライアンスとデータ常駐のニーズに適合して、レポート作成や脆弱性の保護を強化することができます。

---

現在、マルチクラウド環境を使用している企業の41%が、セキュリティが最も重要な課題であると表明しています。<sup>2</sup>

---





# セキュリティ

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「私のデータは正確にどこに保管されますか？」

その答えが明確に定義すべきなのは、インフラストラクチャーとデータのロケーションです。

一部のプロバイダーでは、データやアプリケーションが実際に收容されているセンターのセキュリティやリスク・エクスポージャーに関する情報をお客様はあまり知らないかもしれません。一部のデータ主権要求では、特定の種類のデータを特定のロケーションに保管するよう義務付けています。

プロバイダーは、お客様のデータをサード・パーティーに依存するのではなく、お客様が保管に同意した同じ都市内の、プロバイダー所有のインフラストラクチャーに保管する必要があります。また、お客様はプロバイダーのセキュアな災害復旧サイトについても知りたいと思うでしょう。そうすれば障害発生時にデータがどこに行くのかを知ることができます。データ・アクセスはデータの保管場所と同様に重要であることを忘れないでください。プロバイダーではなく、自分だけがデータにアクセスできて、データ・アクセス規制が遵守されて安全に保管されるよう確認する必要があります。

「データ・プライバシーへのアプローチはどのようなものですか？」

その答えが実証すべきなのは、プロバイダーの戦略アプローチと、データ・プライバシー・プラクティスの管理方法です。

データ・プライバシーは、ボックスにチェック・マークをつけることではありません。ビジネス・プロセスのすべてを構成する、確認とバランスの戦略的で継続的な部分です。セキュリティが組織に深く浸透しているため、プロバイダー候補のプライバシー基準を確認したいと思うでしょう。プロバイダーのチームは、一般データ保護規則 (GDPR) やカリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA) などの、世界中の幅広いプライバシー規制とどのように整合しているか、明確かつ簡潔な回答を提供できる必要があります。さらに、変化する規制環境の中でデータ・プライバシーの手順を維持するために使用するベスト・プラクティスを説明できる必要もあります。

「セキュリティが十分であることがどのようにわかりますか？」

その答えが実証すべきなのは、セキュリティとコンプライアンスの品質です。

単に「クラウドは安全です」「コンプライアンスの義務に適合します」と謳うだけでは十分ではありません。GDPR などの規制データ・プライバシーの義務を遵守するのはお客様の責任なので、プロバイダーはお客様が該当基準に適合できるようにする機能を備えていなければなりません。少数の精鋭サービスだけでなく、すべてのサービスにおいて、ISO 27001、27018、22301 規格の認証を確認してください。

これらの認証やその他のセキュリティ対策は、米国公認会計士協会 (AICPA) のサービス組織コントロール (SOC) レベル 1 および 2 で実証されたという証拠をもって外部監査人によって毎年検証されなければなりません。プロバイダーは、インフラストラクチャー全体にわたりハードウェア、ソフトウェア、ポリシー、手順をカバーする定期的な脆弱性スキャンも実行する必要があります。



# セキュリティ

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「セキュリティ対策はどれほど広範ですか？」

その答えで示すべきなのは、プロバイダーが深く踏み込んだセキュリティを提供することです。

セキュリティにギャップがあると、企業に脆弱性が残されます。クラウド、データ、アプリケーションを包括的に保護するために、適切なプロバイダーはデータセンターからオペレーティング・システムまでの全体に、複数層のセキュリティを構築します。クラウドは、最先端の物理的セキュリティを備えたティア3または同等のデータセンターでホストされなければなりません。また、損失に備えるための暗号化されたバックアップ・メディアや、データを分離するための別個のサーバー・インスタンスやストレージも必要になります。さらに、オペレーティング・システム、データベース、ミドルウェアは、プロバイダーのセキュリティ・オフファリングの一部としてカバーされる必要があります。

「問題が起きたときにはどうなりますか？」

その答えに含まれるべきなのは、よく考えられたバックアップとリカバリー計画です。

災害から速やかにリカバリーできないと、組織は著しい長期的な影響を受けることがあります。それは収益の損失や生産性の問題だけではありません。障害に適切に対応できないと、顧客からの信頼が損なわれて取り返しがつかなくなる可能性があります。災害が起きた場合には、プロバイダーは代替サイトでの災害復旧を提供する必要があります。そのアプローチでは、迅速にオンラインに戻すことが必要であり、災害時でも実動レベルのSLAが有効であることが必要です。信頼できる最適な計画を持っていることを確認するためには、プロバイダーの計画は定期的にテストされ、災害復旧コンサルティングが提供される必要があります。

「ITセキュリティにどれぐらいの経験がありますか？」

その答えに含まれるべきなのは、エンタープライズ・コンピューティングの経験です。

セキュリティは非常に複雑な問題なので、プロバイダーの経験レベルには、幅広いセキュリティ問題の管理の成功が含まれている必要があります。プロバイダーは、管理層で業界のベスト・プラクティスを満たすか超えるセキュリティ・コントロールを持ち、すべての顧客に同じ標準セキュリティ・ポリシーを適用しなければなりません。信頼性の高い、レジエントでセキュアなITサービスを提供しているベンダーの追跡記録について質問してください。従来型のエンタープライズITとクラウド・セキュリティでの成功をベンダーが実証できる能力を見ることで、お客様のクラウドがどれほど適切に保護されるかを判断することができます。





# 管理

IaaS から PaaS、アプリケーションのサポートにまで及ぶ  
エンド・ツー・エンドのクラウド管理スキル



## プロバイダーは実際に何をしてくれるか

クラウド・デプロイメント、アプリケーション、データの管理は複雑です。このバランスを取るには、コストを増加させる一方でサービス・レベル、ビジネスの俊敏性、顧客体験を低下させる可能性がある、さまざまなツール、プロセス、管理インターフェース、スキルが必要です。その結果、多くの IT リーダーは、SAP のような高度にカスタマイズされた広範囲に及ぶシステムをクラウドに導入することを躊躇します。しかし、ワークロード全体にクラウドに関連する効率性を導入して実現することにより、クラウド・マネージド・サービス・プロバイダーはこれらの障壁の克服を支援することができます。

SAP と S/4HANA や、JD Edwards や PeopleSoft などの Oracle アプリケーションのような ERP アプリケーションをさまざまなハイパースケール・ソリューションで管理し、マルチクラウド環境で可視性を提供できるプロバイダーを探しましょう。プロバイダーは、管理と標準化の責任を持つ必要があります。

---

「私たちには単に、SAP ERP 環境を管理するためにリソースがありませんでした...IT チームを時間のかかる手作業のタスクから解放するために、フル・マネージド・ソリューションに狙いを定めました。」

Maria Gutierrez 氏、CIO、  
Performance iN Lighting 社<sup>3</sup>

---



# 管理

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「クラウド・スタック全体、IaaSとPaaSの両方を管理できますか？」

その答えに含まれるべきなのは、エンド・ツー・エンドのERP管理です。

企業がクラウド・マネージド・サービス・プロバイダーと連携する理由の1つは、管理の負担を軽減することです。高いスキルを持った人員を見つけて雇用し、トレーニングして維持するには、時間とコストがかかります。適切なプロバイダーは、熟練したスタッフと組み込み型の自動化技術を使用して、クラウド上でのエンタープライズ・ワークロードの管理を引き受けることができます。目標はスピードと俊敏性の向上、複雑性とリスクの低減、生産性の強化でありながら、一部のベンダーはある程度までしか実現してくれません。クラウド・インフラストラクチャーとその上で稼働するアプリケーションの両方を網羅する、必要なサービスがすべて揃っているプロバイダーを探します。プロバイダーは、サード・パーティーに依存するべきではありません。

「管理プラクティスはどれくらい堅固ですか？」

その答えに含まれるべきなのは、認識された基準に従った、一貫した管理です。

プロバイダーと連携する際には、一貫したエンド・ツー・エンドの管理のためにビジネス、IT、運用サポートをまとめる、包括的な管理プラットフォームを持つ必要があります。モニターとアラートのためのメトリック、アプリケーション固有のテクノロジーとプロアクティブな問題検出による予測分析、自動化されたコミュニケーションは、すべて重要な機能です。すべての管理プロセスは、Information Technology Infrastructure Library (ITIL) に準拠して、現在の業界のベスト・プラクティスに常に従うようにする必要があります。

「ITスタッフのタスクを簡素化できますか？」

その答えに含まれるべきなのは、合理化され、高度に自動化されたクラウド管理です。

フルマネージド・クラウドを使用しても、複数の管理インターフェース、プロセス、スキル・セットがあると、クラウド・リソースにアクセスしてタスクを達成することは難しくなります。マネージド・クラウド・プロバイダーは、管理環境とすべてのサービスへの迅速なアクセスを可能にするシンプルなセルフサービス・インターフェースを提供する必要があります。このインターフェースを使用して、スタッフはハードウェア、プロセッサ、メモリー、ストレージと共に、サービス・レベル、オペレーティング・システム、アプリケーション・モニターなどのオプション・サービスを選択することができます。自動化と統一された管理ツールを使用できることにより、商品化までの時間を大幅に短縮し、DevOpsの生産性を強化することができます。





# 管理

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「エンタープライズ・アプリケーションを完全にサポートできますか？」

その答えに含まれるべきなのは、主要なエンタープライズ・アプリケーションの専用サポートです。

SAP、Oracle、JD Edwards、PeopleSoftなどのクラウド対応のエンタープライズ・アプリケーションとそのデータから、組織は大きな価値を得ています。しかし、これらのアプリケーションを使用することで、IT部門に新たな課題が生じます。つまり、コアITインフラストラクチャー、アプリケーションやデータベースと共に、クラウド・デプロイメントの管理と保護が必要になります。クラウド・プロバイダーは、エンタープライズ・プラットフォーム全体を網羅する、サービスとしての管理サポートを提供する必要があります。このサポートには、SAP Basisやデータベース層など、コア・インフラストラクチャーやエンタープライズ・プラットフォーム・コンポーネントが含まれる必要があります。エンタープライズ・アプリケーション用のビジネス中心のSLAを持つプロバイダーは、インフラストラクチャーのみに対するSLAよりも、サービス・レベル・コミットメントを適切に維持できます。

「クラウド対応ワークロードをプロバイダーの環境に移行するのを支援してくれますか？」

その答えに含まれるべきなのは、クラウドへの移行を容易にするのに役立つ柔軟性です。

移行は非常に重要なので、SAPやOracleアプリケーション、さらにそれらとトランザクションを行うアプリケーションをクラウドに移行する経験の豊富なプロバイダーと連携することが不可欠となります。適切なプロバイダーは、オペレーティング・システム、ハイパースケール・ソリューションの選択肢をサポートし、標準の反復可能なプロセスと自動化を使用して、移行を簡素化して円滑な稼働を提供します。詳細な計画とテストが、サービス・プロバイダーの移行計画の一部に組み入れられている必要があります。

「規制により私のデータを保管することが要求されている特定の地域にデータセンターがありますか？」

その答えに含まれるべきなのは、お客様が必要とするロケーションにプロバイダーがデータセンターを持っていることです。

コンプライアンスとデータ主権の義務によって、ビジネスが行われる場所にデータを保管することが要求されることがよくあり、ロケーションがプロバイダーを選択する際の重要な要素となっています。サード・パーティーの利用を制限するために、必要な場所にデータセンターがあるクラウド・プロバイダーを探してください。サード・パーティーのインフラストラクチャーやサポート能力はお客様のニーズに合わないかもしれず、それによりセキュリティの懸念や重要なSLAへの影響が生じる可能性があります。



# 専門知識

クラウドとそこで実行されるワークロード、新興テクノロジー、投資収益率向上のための運用の最適化における経験

## プロバイダーはどの程度有能か

多くのクラウド・プロバイダーは、インフラストラクチャーの提供を通じてビジネスを成長させることに集中していますが、クラウド・デプロイメントのメリットを実現するには、インフラストラクチャー以上のものがが必要です。また、ワークロード、特に SAP のような複雑なシステムが、他のシステムや、データ、アプリケーションとどのように機能するかを十分に理解していることも重要です。

さらに、エンタープライズ・レベルのコンピューティングに幅広い経験を持つプロバイダーは比較的少数です。専門知識の堅固な基盤とそれを利用する実績のある方法論がなければ、企業のコア・ワークロードのクラウドへの移行に関わるすべての課題に対応できないかもしれません。

円滑な移行を実現して SLA の目標を達成するためには、クラウド環境の深い専門知識に加えて、移行、組織、ガバナンス、継続的な管理の能力を持つプロバイダーと連携します。

---

「私たちの目標は、専門家に委ねることでした... 当社の SAP ERP ソリューションはミッション・クリティカルであり、計画外のダウンタイムを許容することはできませんでした。」

*Maria Gutierrez 氏、CIO、  
Performance iN Lighting 社*

---





# 専門知識

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「プロバイダーは計画と実行をどのように支援してくれますか？」

その答えで実証されるべきなのは、プロバイダーがお客様のチームと十分に関与する準備ができています。

組織やガバナンスの変更から、システムのインターフェースや接続に必要な変更が行われたことの確認まで、ERP ワークロードのクラウドへの移行の際に行う必要があることはたくさんあります。複雑なエンタープライズ・ワークロードを移動する際に発生する可能性のあるあらゆる種類の課題、アクション、影響に対処してきた経験を持つプロバイダーが必要となります。

適切なプロバイダーは、スペシャリストから CIO に至るまでのあらゆるレベルで、堅固な関係を築いています。また、テストされたツールと長年の経験によって完成させた方法論を用いた、移行計画への戦略的アプローチを採用します。プロバイダーはさらに、組織のすべての部分がどのような影響を受けるかを考慮し、チームと十分に連携する必要があります。

「プロバイダーはこの業界に関連するエンタープライズ・ワークロードをどれくらいよく理解していますか？」

その答えに含まれるべきなのは、堅固な独立系ソフトウェア・ベンダー (ISV) の関係、エンタープライズ・コンピューティングの経験、業界の専門知識がサービスで明白であることです。

限られた専門知識しか持たないベンダーは、お客様のシステムや戦略の目標を真に理解しておらず、課題の一部にしか対処できないかもしれません。例えば、十分な経験のないプロバイダーは、時間が節約できる、業界に固有のカスタマイズやテンプレートを組み込まないかもしれません。

ベンダーがクラウドに ERP を実装してきた経験年数を確認し、その管理プラクティスに対するアナリストの意見を読んでください。ISV との長い経験の履歴は、プロバイダーがその ISV のシステムやハードウェアの古い、従来型のバージョンやデプロイメントを理解していることを示します。このようなプロバイダーは、それらの固有のワークロードをクラウドに効果的に実装して管理する方法を判断するのに、より適しています。プロバイダーの ISV との関係を精査することは、時間をかけて行う価値があります。SAP パートナーであると主張するベンダーであっても、フルマネージド・サービス・プロバイダーではなく、ホスティング・プロバイダーとして認証を取得しただけかもしれません。プロバイダーのリソースの業界専門知識や、サービスに組み込まれている業界のカスタマイズについて、プロバイダーに質問してください。



# 専門知識

Q&A:  
適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「実績のある方法論とツールは何ですか？」

その答えに含まれるべきなのは、エンタープライズの領域での履歴です。

新興のプロバイダーとは異なり、定評のある戦略エンタープライズ・パートナーは、以前の従来型とクラウド・ベースの実装から学習したことを利用して、クラウドへの移行を合理化することができます。お客様のワークロードに固有の潜在的問題やソリューションを概説する、テストされた方法論を持つプロバイダーを探してください。起こりそうなことを事前に理解しておくことで、問題を回避したり、問題が発生したときに迅速に解決することができます。また、プロバイダーは移行を簡素化するために、独自のツールを使用してワークロードに関する洞察を取得すると共に、サード・パーティーや ISV からも洞察を得る必要があります。

「多様な環境でのワークロード管理でどのような経験をしてきましたか？」

その答えに含まれるべきなのは、幅広い専門知識です。

多くのマネージド・クラウド・プロバイダーは専門家ですが、その専門知識は所有するインフラストラクチャーに限られています。彼らのクラウド・オファリングを超えて広がる複雑なデプロイメントとなると、ワークロードの構成、移行、管理の支援をサード・パーティーに頼らざるを得ません。しかし、開発、テスト、実動環境など、エンタープライズ・システムに関連するさまざまなワークロードは、さまざまなクラウド・インフラストラクチャーや組み合わせを使用してデプロイされる可能性があります。整合性を達成して複雑さを軽減するために、クラウド・サービス・プロバイダーは、どんなクラウド・デプロイメント・タイプまたはハイパースケーラーに関しても、同じレベルの専門知識と知識を提供できる必要があります。





# シンプルさ

運用をシンプルにして、ERP アプリケーション環境全体に管理、自動化、可視性、アクション可能な洞察を提供



## プロバイダーはどの程度有能か

ERP 環境がこれまで以上に複雑になってきている中、ERP アプリケーションの管理を簡略化することができるプロバイダーを利用するのが意味を成します。複雑さを軽減することで、生産性や品質が向上し、スピードや俊敏性を妨げるプロセスやシステムを改革することができます。

運用データから洞察を収集するために、プロバイダーはデータの傾向を分析し、ワークロードを最適化して、結果を推進することにより、不要な情報をフィルタリングして、根本原因を素早く特定できる必要があります。しかし、データだけでは役に立ちません。大規模な ERP 環境では、1カ月に何千ものイベントやアラートが発生することがあるため、スタッフは圧倒され、障害を防ぐことができたかもしれないクリティカルなイベントからチームの注意がそれてしまいかねません。問題解決に奔走したり対応したりするサイクルに巻き込まれ、根本原因の分析は遅くなり、時間のかかるものになってしまいます。

データ・フィード・メトリックのアプリケーション固有の予測分析によって、プロバイダーはプロアクティブな問題検出を実現できます。先進のツールとプロセスを使用することで、プロバイダーはアラートのパターンを特定し、重要なデータにより早く到達することができます。次に、プロアクティブな通知を実装し、チームが潜在的な問題をプロアクティブに管理できるようにします。最後に、適切なプロバイダーは、ERP アプリケーションのパフォーマンスのビジネスへの影響を、明確に可視化できるようにします。

「手動作業やスプレッドシートを使った作業を自動化することで、投資ポートフォリオ全体を即時に可視化し、チームが最適化を行って収益を増加できるようにします。」

Sreenivas Pamidimukkala 氏、CIO、  
Andhra Paper Limited 社<sup>4</sup>



# シンプルさ

## Q&A:

### 適切なプロバイダーを見つけたことを知る方法

「ERP アプリケーションのクラウドへの移行のアプローチで何が独特ですか？」

その答えに含まれるべきなのは、自動化と移行後のアプリケーション管理の計画です。

適切なプロバイダーは、自動化を使用して、整合性を高めながらより速く結果を提供する方法を示す必要があります。業界ベースのテンプレートを使用することで、通常は面倒なカスタマイズによって失われる移行の時間を短縮することができます。また、プロバイダーの経験を調べて、円滑に稼働できるようにするために、テスト済みの移行手法やツールを使用しているかどうかを確認する必要があります。

「ハイパースケール・プロバイダーに関わらず、ERP アプリケーション全体の可視性をどのように確保しますか？」

その答えに含まれるべきなのは、アプリケーション間の統一されたポータルです。

お客様とポータル体験を共有するプロバイダーを探します。お客様はプロバイダーのガイダンスの下で、開発、テスト、実動にわたり、またクラウド・プロバイダー間にわたり、あらゆる ERP システムのパフォーマンスを見ることができなければなりません。さまざまなタイプのレポートと、プロバイダーがリアルタイム・データにどれほど近いかを理解することが、成功への鍵となります。また、アプリケーション・パフォーマンス・インターフェース (API) によって、ポータルを他のアプリケーションに拡張できるかどうかも確認します。

「よりプロアクティブなサービスを提供するためにどのようにテクノロジーを使用しますか？」

その答えに含まれるべきなのは、予測分析です。

プロバイダーは、データ・フィード・メトリックの予測分析を提供するアプリケーション固有のレポートの作成方法を実証する必要があります。最後に、プロバイダーがプロアクティブな問題検出と自動化されたコミュニケーションをチームに提供できることを確認することが必要です。



# サービス・プロバイダー候補のチェックリスト



## 選択

- どんなクラウド・プロバイダーを選択すればいいですか？
- サービス・レベルを満たせますか？
- 独自のクラウド・プラットフォーム以外のものも管理しますか？
- 組織全体に一貫した体験を提供できますか？
- 私の目的にどの程度適していますか？



## セキュリティ

- 私のデータは正確にどこに保管されますか？
- データ・プライバシーへのアプローチはどのようなものですか？
- セキュリティが十分であることがどのようにわかりますか？
- セキュリティ対策はどれほど広範ですか？
- 問題が起きたときにはどうなりますか？
- IT セキュリティにどれぐらいの経験がありますか？



## 管理

- クラウド・スタック全体、IaaS と PaaS の両方を管理できますか？
- 管理プラクティスはどれぐらい堅固ですか？
- IT スタッフのタスクを簡素化できますか？
- エンタープライズ・アプリケーションを完全にサポートできますか？
- クラウド対応ワークロードをプロバイダーの環境に移行するのを支援してくれますか？
- 規制により私のデータを保管することが要求されている地域にデータセンターがありますか？



## 専門知識

- プロバイダーは計画と実行を支援してくれますか？
- プロバイダーはこの業界に関連するエンタープライズ・ワークロードをどれぐらいよく理解していますか？
- 実績のある方法論とツールを持っていますか？
- 多様な環境でのワークロード管理の専門知識を持っていますか？



## シンプルさ

- ERP アプリケーションのクラウドへの移行のアプローチで何が独特ですか？
- よりプロアクティブなサービスを提供するためにどのようにテクノロジーを使用しますか？
- ハイパースケール・プロバイダーに関わらず、ERP アプリケーション全体の可視性をどのように確保できますか？

# チームを解放してより戦略的なプロジェクトにフォーカスする

「Kyndryl との協業の良い点は、同社のチームに業界とテクノロジーのエキスパートが揃っていることです。何をしてほしいかを伝えることは一度もありませんでした。彼らは常にわれわれのニーズを予測し、クラウドへの移行を軌道に乗せるために率先して手段を講じてくれました。プロジェクト全体を通して、Kyndryl 社と当社のプロジェクト・チームとの間のコミュニケーションは卓越しており、常に安心して任せられるという信頼感を持っていました。」

Sreenivas Pamidimukkala 氏、CIO、  
Andhra Paper Limited 社<sup>4</sup>

## 競合他社が不十分なところでも、Kyndryl™ は提供できます

一部のプロバイダーのソリューションでは、お客様が必要とするすべてのインフラストラクチャーと管理サービスをカバーするために、複数の移動部分や多数の専門化されたビジネス・パートナーを利用します。しかし、Kyndryl のエンタープライズ・アプリケーション・マネジメント・サービスは、実動に対応するサービスです。エンタープライズ・クラスのパフォーマンス用に構築され、堅固な IaaS オプションと統合マネージド・サービスのフルセットを組み合わせて、クラウド上の基幹業務の ERP ワークロードの毎日の管理を最適化します。コスト削減、複雑性の低減、リスクの抑制を目的に設計された Kyndryl エンタープライズ・アプリケーション・マネジメント・サービスは、以下のようにお客様をサポートします。



重要な洞察と分析の提供により、関連する Oracle と SAP の情報に迅速にアクセスできるようにします。



可視性と透明性の向上を、API を活用する利用向けに設計された、強力なマネージド・アプリケーション・ポータルで行います。



一貫したサービスの提供を、デプロイメント・モデルとサード・パーティー・クラウドにわたり、クラウド・ファーストの方法で行います。



包括的なセキュリティ・コントロールと、SAP と Oracle のニーズに合わせて構築された機能が得られます。

## 他社との違い

クラウド上のマネージド ERP アプリケーション・サービスへの当社の次世代のアプローチは、お客様の基幹業務ワークロードに統一された体験を提供することに重点を置いています。IaaS からアプリケーション層までにわたり、以下のような特徴のある統合サービスを提供しています。

- SAP と Oracle の深い専門知識と、Azure、AWS、IBM Cloud、Oracle Cloud Infrastructure などの複数のクラウド・プロバイダーへのグローバル・リーチ
- 要求の厳しい ERP ワークロードを構築、移行、維持し、そのニーズに対応するための、自動化などの先進テクノロジーや主要なツールセット
- 透明かつオープンで、インテリジェントな一元型のお客様サービス
- オンプレミスとクラウドのデプロイメントに加えて、従来型とクラウドネイティブのアプリケーションの計画、移行、移動、管理のためのクラウドの専門知識へのエンド・ツー・エンドのジャーニー



# 次のステップ：お客様のクラウド・ジャーニーの開始、移行、目的を理解する

エンタープライズ・アプリケーションやデータからより大きな価値を得るために、組織は多くの場合クラウド・マネージド・サービスを利用するようになります。Kyndryl のエンタープライズ・アプリケーション・マネージド・サービスを使用することで、お客様はクラウド、エンタープライズ・コンピューティング、セキュリティ、ビジネス・トランスフォーメーションの実績ある経験を活用して、クラウド・ジャーニーを合理化することができます。

ERP アプリケーションをクラウドに移動することは、マネージド・インフラストラクチャーだけではない行程です。Kyndryl は以下のようにお手伝いできます。

1.

ERP や ERP 以外のアプリケーションやデータをクラウドに移行して統合します。

2.

包括的な計画を作成し、ERP アプリケーションをクラウドに合理化した移行ができるよう準備します。

3.

SAP や Oracle などのエンタープライズ・アプリケーションを、AWS、Azure、IBM Cloud、Oracle Cloud Infrastructure などお好きなクラウドで管理します。

4.

複数のクラウド・プロバイダーにわたる ERP アプリケーションの単一ポータルを提供します。

5.

クラウド環境を継続的に最適化して効率と結果を最大化します。

6.

ERP アプリケーションを AI、IoT、ブロックチェーンなど他のテクノロジーに拡張します。

SAP アプリケーション向けのマネージド・サービスについて詳しくは、Web サイトをご覧ください。

[Webサイトにアクセスする →](#)



## Kyndrylをお勧めする理由

キンドリルには、世界に必要な不可欠なテクノロジー・システムをデザイン、構築、運用する豊富な専門知識があります。私たちは、社会を成長へと導く重要なインフラストラクチャーを発展させることに全力を尽くします。私たちは、新たな方法でシステムを作り出すことで優れた基盤を構築しています。適切なパートナーを選定し、ビジネスに投資し、お客様とともに課題に向き合い、新たな可能性を解き放ちます。

[詳細はこちらから →](#)

© Copyright Kyndryl Inc. 2021

キンドリルジャパン合同会社

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町19-21

Kyndryl は、米国もしくはその他の国における Kyndryl Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的のみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。